

(仮称)上瀬谷ラインへの事業参画の再検討に係る方針について (社長談話)

令和3年11月26日にプレスリリースした「(仮称)上瀬谷ラインへの事業参画依頼について横浜市へ回答」にあるとおり、令和3年9月7日に横浜市より弊社に依頼がありました(仮称)上瀬谷ライン(以下、本事業)への事業参画については、社内で慎重に検討した結果、現時点では本事業に軌道事業者として参画しないとの結論に至り、その旨を11月25日に横浜市に回答しました。

今後、本事業の鉄道ネットワーク化やテーマパーク事業のコンソーシアム形成、新型コロナウイルス感染症再拡大等の不測の事態への対応など弊社が考えている課題について、横浜市で検討され、本事業の採算性や継続性について抜本的な見直し提案がされた場合は、当社は本事業への参画を再検討する所存です。

本事業に関しては、弊社の筆頭株主である横浜市や横浜市民に予期せぬ負担をかけることなく、新たな交通の導入の可能性を確保した上で、今回のまちづくりのコンセプトの一つである「将来にわたる安全安心で利便性の高い上瀬谷地区のまちづくり」を実現できるよう、弊社のできる範囲でサポートしていきたいと考えています。

令和3年12月2日
(株)横浜シーサイドライン
代表取締役社長 三上 章彦